

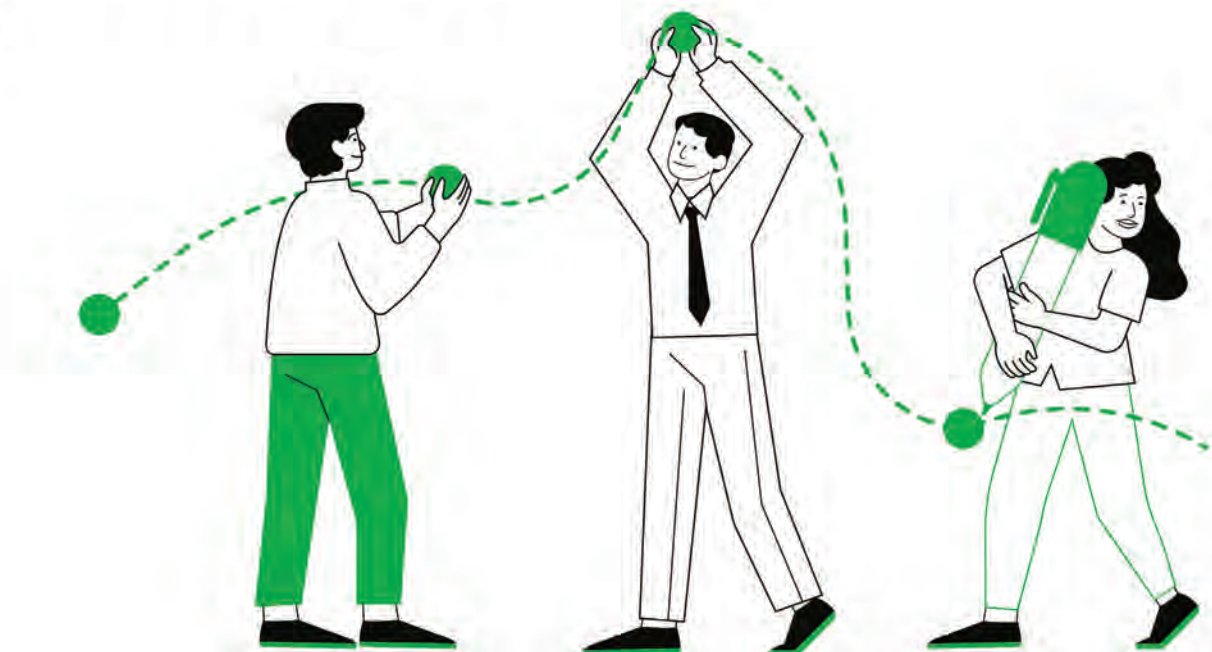
豊橋市の中心市街地活性化の取り組み

豊橋まちなか活性化センター & 豊橋まちなか未来会議

株式会社 豊橋まちなか活性化センター
石川 拓

AGENDA

- 1.自己紹介&豊橋市の紹介
- 2.豊橋まちなか活性化センターの事業内容
- 3.豊橋まちなか未来会議/まちなか未来ビジョン
- 4.イノベーション×まちづくり



1. 自己紹介



VR手筒花火を体験する石川

小学校～高校を豊橋で過ごす
大学・大学院にて東京・名古屋で生活
就職を機に豊橋に戻り地元企業に就職
出向により2024年12月より、
豊橋まちちか活性化センターに配属される

妻と4歳の娘、1歳6か月の息子の4人家族

1. 豊橋市の紹介



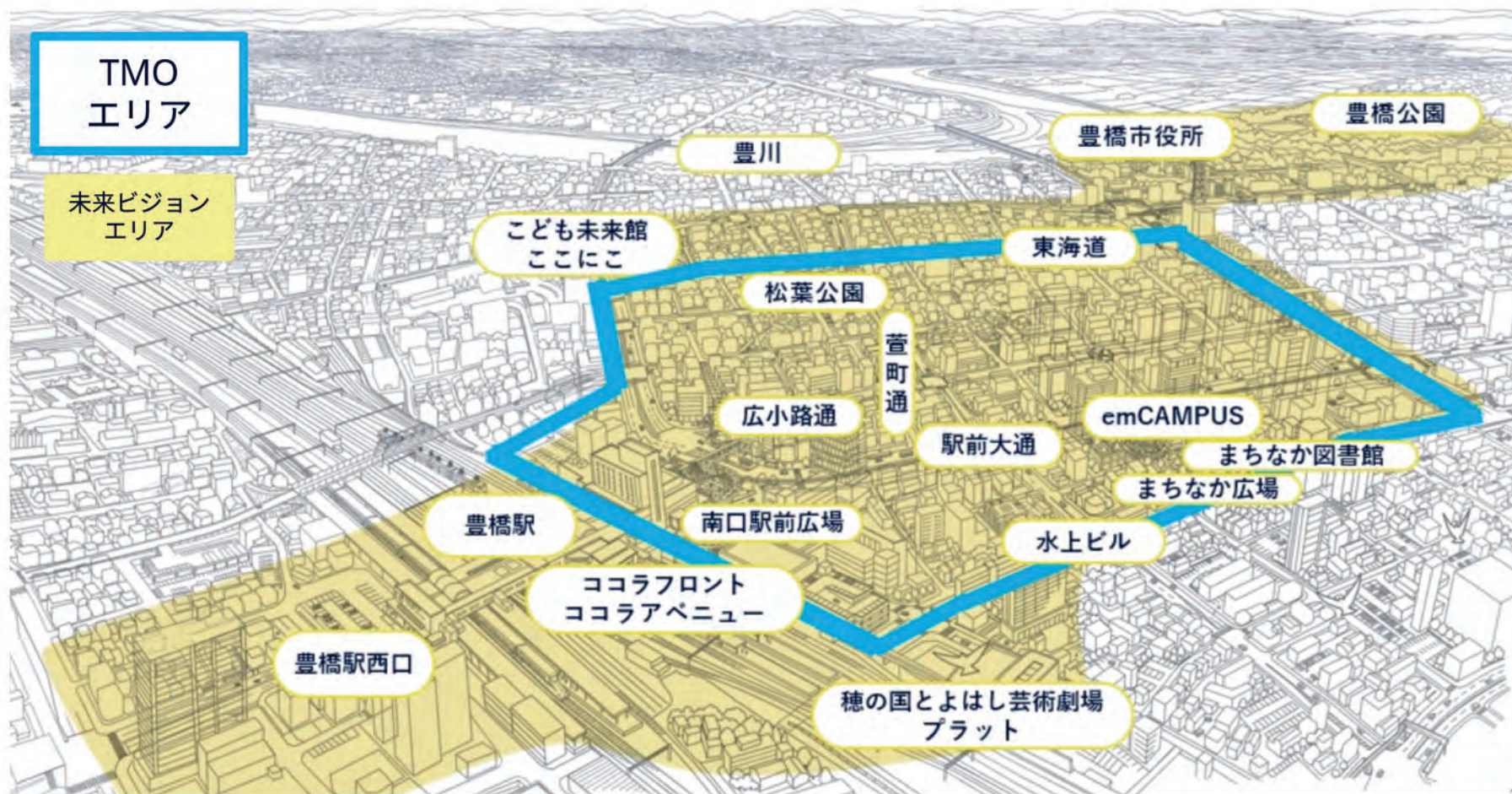
地理院地図

2. 株式会社豊橋まちなか活性化センター

- 2000年6月に、豊橋市中心市街地活性化基本計画に基づく中小小売商業高度化事業実施のため、商店街の枠を超えたまちづくり機関として設立
- 共通駐車券、補助金交付等の商業振興・中心市街地にぎわい創出事業を実施
- 産学官金民からなる豊橋まちなか未来会議事務局として「まちなか未来ビジョン」の実現を目指す
- 都市再生推進法人の指定を受け、広場利用促進事業の実施を通じ、中心市街地の活性化に取り組む

株主・構成団体等 (出資割合)	豊橋商工会議所(27%)、豊橋市(25%)、ヤマサちくわ株式会社(10%)、豊橋鉄道株式会社(5%)、豊橋信用金庫(5%)、豊橋ステーションビル株式会社(2.5%)、株式会社マッターホルン(2.5%)、中部ガス不動産(株)(1.25%)、エフアールカンパニー株式会社(1.25%)、その他(21%)
職員数	5名（うち非常勤1名）
補足	・ 2022年3月30日より豊橋まちなか未来会議事務局 ・ 2024年8月20日より都市再生推進法人指定

2. 株式会社豊橋まちなか活性化センター 事業エリア



2. 株式会社豊橋まちなか活性化センター 事業内容

1. 共通駐車券・市電おかえりキップの発行
2. まちなかインキュベーション事業等補助金の交付事務
3. 各種イベントの開催

1

3



2



2. 株式会社豊橋まちなか活性化センター 事業内容

当社が選定した魅力的な空き物件に関して、当社で取得あるいはサブリース契約のうえで、適宜必要な補修等の工事を行いつつ新たな事業者に提供することを目指してプロジェクトを実施



Roots7village / 株式会社Roots7

令和6年10月17日にグランドオープン

メンバー制ワークラウンジと飲食ラウンジの二つを融合させたコミュニティ施設として営業

古民家バル HOLOHOLO / 株式会社陽のあたるホールディングス

令和7年1月17日にグランドオープン

クラフトビール、クラフトジンを中心に提供するカフェ&バーとして営業

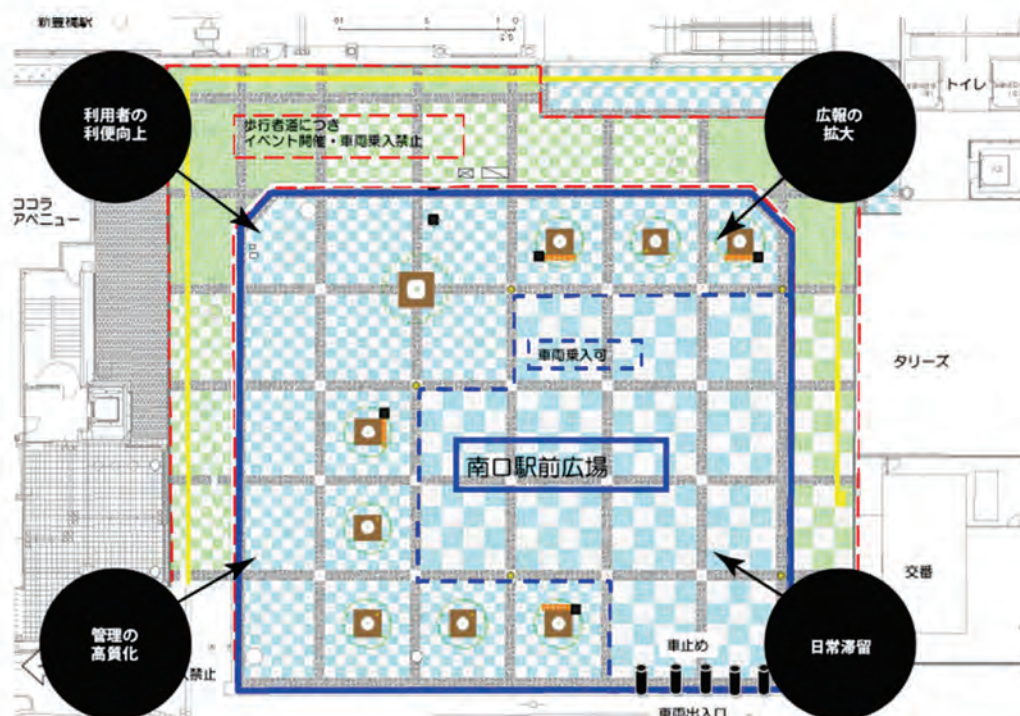
2. 株式会社豊橋まちなか活性化センター 事業内容



まちなかに立地する豊橋市の公共駐車場3個所の指定管理を第三セクターの豊橋駐車場と共に管理

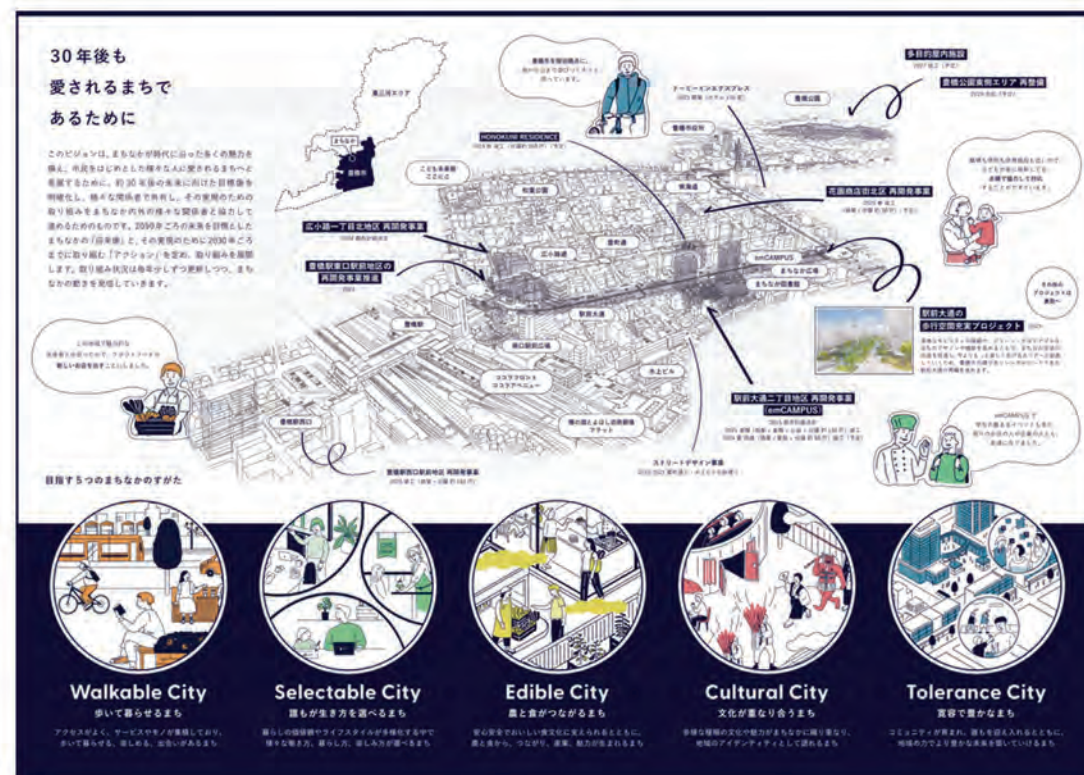
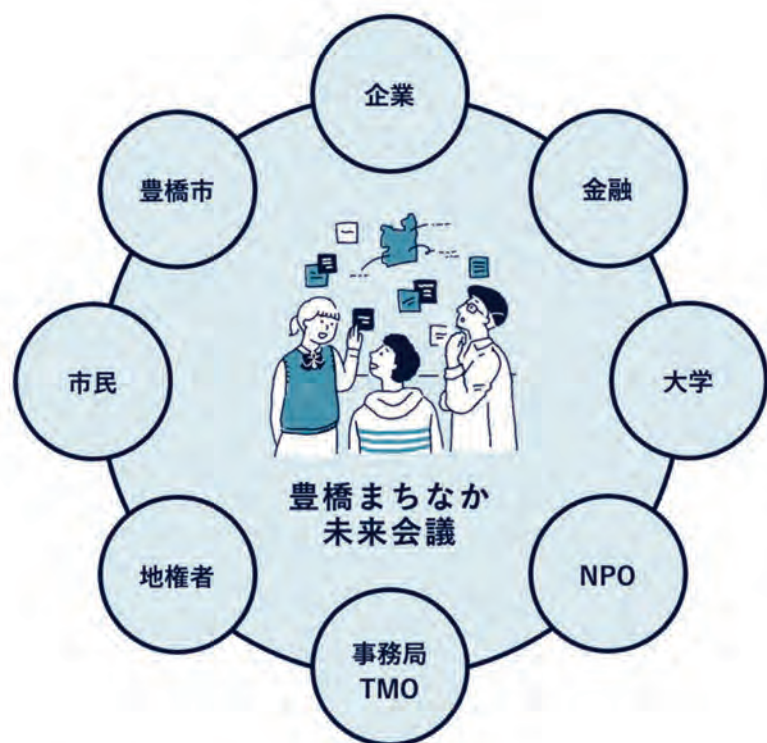
駐車場の利用者や周辺施設との連携による稼働率向上に取り組む

2. 株式会社豊橋まちなか活性化センター 事業内容



豊橋市と利便推進協定を締結し、当社が豊橋駅南口駅前広場の管理運営業務を受託
民間の施設管理ノウハウを生かし、中心市街地の活性化に貢献していく

3. まちなか未来ビジョンの推進



2050年ごろの未来を目標としたまちなかの「将来像」と、その実現のために2030年ごろまでに取り組む「アクション」を定め、取り組みを展開します
 取り組み状況は毎年少しずつ更新しつつ、まちなかの動きを発信していきます

3. まちなか未来ビジョンのご紹介



豊橋のまちなかは、豊川の恵みと東海道の宿場町、そして吉田城の歴史の上に、

地域の方々が自らの手で築き上げてきたまちです。

現在の住みやすさを守り、活かし、より豊かな都市へと進むためには、

未来を切り開き続けていくことが重要となります。

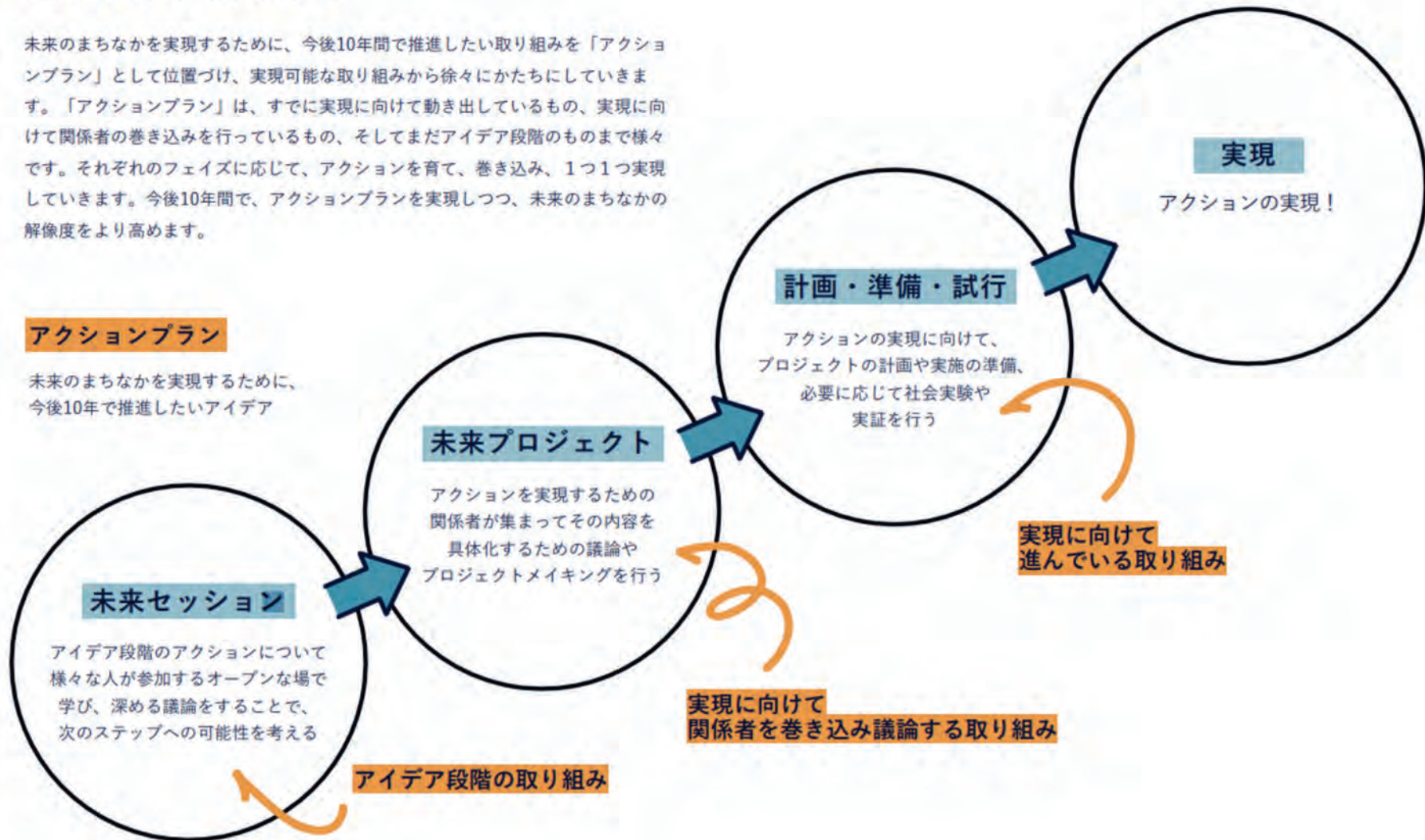
「豊かさに橋を架けるまち」として、単に住みやすいまちであるだけでなく、
これからの時代における新しい価値観、文化、暮らしを積極的に発信できるまちを、
わたしたち自身の力で築き上げていきます。

アクションを育て、 巻き込み、実現する

未来のまちなかを実現するために、今後10年間で推進したい取り組みを「アクションプラン」として位置づけ、実現可能な取り組みから徐々にかたちにしていきます。「アクションプラン」は、すでに実現に向けて動き出しているもの、実現に向けて関係者の巻き込みを行っているもの、そしてまだアイデア段階のものまで様々です。それぞれのフェイズに応じて、アクションを育て、巻き込み、1つ1つ実現していきます。今後10年間で、アクションプランを実現しつつ、未来のまちなかの解像度をより高めます。

アクションプラン

未来のまちなかを実現するために、
今後10年で推進したいアイデア



未来のまちなかを
実現するための
5つのアクションプラン

action plan 1

p.18

にぎわいと文化を紡ぐ

- 公共空間の利活用と整備により回遊性と滞在性を高める
- モビリティの接続強化により多様な施設や機能をつなぐ

action plan 2

p.21

食と農でまちをつなぐ

- 生産・加工・販売ネットワークとビジネスを支援する
- まちで食と農に関わる機会を増やし魅力を高める

action plan 3

p.23

暮らしの地図を描く

- 子育てや健康教育機会を充実し暮らしの選択肢を増やす
- 自治会やイベント等の情報を得やすくし暮らしとつなげる

action plan 4

p.24

学びと挑戦の場を育てる

- 多様な人の活躍を応援しあらゆる場で参画機会を増やす
- 実証実験や起業など挑戦しやすい環境を整える

action plan 5

p.25

未来を変えるチームを作る

- 未来を議論するプラットフォームとまちの世話役を育てる
- まちのデータ基盤を作り情報発信を強化する

取り組み事例(1) 『食と農で街をつなぐ』



飲食店・菓子店等×農家のマッチング会



東三河FOOD DAYS交流会



東三河の特産品を使った商品アイデアソン

取り組み事例(2) アクションの実現を目指す実証実験

こどもまちなか打ち水大作戦

- 豊橋駅東側地区を対象に3D都市モデルを活用して実施した熱環境解析の結果を踏まえ、暑熱対策の試験的取り組みとして豊橋技術科学大学 し島崎研究室と共同で打ち水イベントを実施
- サーモグラフィ画像により、打ち水の効果を視覚的に体感



駅前大通WALK AROUND

- ストリートファニチャーを活用した滞留空間の創出
- 地元参加のワークショップを通して市民が親しめる緑の空間創出や地元主体の維持管理体制の構築を検討
- 豊橋技術科学大学 お小野研究室との共同で、アンケート&調査により効果検証



APPENDIX 東三河スタートアップ推進協議会

※前職場で携わったプロジェクト

東三河UPPERS

- 東三河の起業家コミュニティ活動
HigashiMikawaUPPERSはビジネスモデルの構築に取り組む起業家や、起業体験イベント・勉強会等の企画者の活動を促進し、起業文化の醸成を図るため、多様な人材が応援者として参画する4か月サイクルのプロジェクト活動



Higashi Mikawa UPPERS

エリア・団体横断型、起業(企業)家・支援者
共創参加型コミュニティ

- ✓ 起業・新規事業創出文化、支援文化醸成
- ✓ 起業家と支援機関とのネットワーク創出
- ✓ 地域主導型PJT複数創出



emCAMPUS STUDIO

- 東三河の大学、企業、各種団体と連携したセミナーやワークショップを開催
- 地域課題の解決や新しい価値を生み出す様々なプログラムでまなびの機会を提供
- 愛知県が設置する「STATION Ai」との連携する東三河スタートアップ・サテライト支援拠点の一つとして、活動



イノベーション×まちづくり

イノベーション&まちづくりのタネ(困りごと)

- 地域課題(住民目線)や経営課題(事業者目線)、都市計画課題(行政目線)を話し、交流する機会が必要
- 豊橋市の場合、中心市街地活性化協議会や東三河スタートアップ推進協議会など、まちに関わる人が集まる場を活用し、イノベーション&まちづくりのタネ(困りごと)を共有することが重要

プレイヤーの発掘と育成、支援

- イノベーションを起こそうとする人をイベント等で発掘し、能力・リテラシー水準に応じて、適切な支援を行い、育成していく環境が必要
- ハラスメント防止やマナーリテラシー、安全・安心が担保されている必要性がある

交流する場の存在

- イノベーションを起こそうとする人（スタートアップ、起業家、社内新規事業担当者、研究者など）が集まり、交流したり、支援者・仲介者・投資家・金融機関など、取り組みを前に進める助けとなる人・組織に出会う場を恒常的に用意することが重要
- 多様な属性、専門分野、温度感に応じて、コミュニティの種類が多いことが望ましい

モノ・カネの循環

- イノベーションを起こしていくうえで、活動資金や活動場所、道具・資材などが必要となる
- 余っているものや空いている場所を融通したり、寄付・協賛など、イノベーション×まちづくりに取り組むプレイヤーへと流れていく仕組みが必要